

鋼の焼付き過程における塑性流動と金属組織変化に関する研究

松崎, 康男

<https://hdl.handle.net/2324/2236227>

出版情報 : Kyushu University, 2018, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	松崎 康男			
論文名	鋼の焼付き過程における塑性流動と金属組織変化に関する研究			
論文調査委員	主査	九州大学	教授	杉村 丈一
	副査	九州大学	教授	澤江 義則
	副査	九州大学	教授	松永 久生
	副査	九州大学	准教授	八木 和行

論文審査の結果の要旨

本研究は、高速長時間撮影可能な観察システムを開発し、しゅう動中の摩擦面のその場観察と温度測定、金属組織分析を行って、焼付き発生の過程における移着膜による塑性流動の促進、鋼表面の反応膜の挙動、3段階の発熱過程と金属組織変化を明らかにし、焼付きの発生と進展のメカニズムを提案したものであり、機械工学上価値ある業績として、博士(工学)の学位に値すると認める。